

Hello Yubari | 新たな想い

夕張市美術館は道内で2番目の市立美術館として1979年に開館し、夕張市が2007年に財政再建団体に指定後、休館を挟みながらも継続されましたが、積雪で屋根が崩落し2012年にその幕を閉じました。幸運にも収蔵作品は無事で、現在も市内の収蔵庫に保管されています。

それから十年を経た2022年、学生たちと収蔵庫前の廊下で収蔵作品を見せていただく機会がありました。それまで眠っていた作品が目覚まし、一斉に呼吸を始めたかのような存在感で、過去と現在が交わる空間は暖かく、何より充実した時間でした。この体験から、世代と地域を越える美術作品の力、それを守り伝えていく美術館の役割、社会における地域文化教育の必要を実感し、改めて未来を考えていく機会になればと、夕張市教育委員会の協力を得て収蔵作品展と教育プログラムを進めました。

この企画展シリーズ《Hello Yubari | 新たな想い》は、学生たちが残された作品に会いに行き、作者の表現に時間をかけて触れ、かつての炭鉱町に新たに想いを馳せる鑑賞体験から始まります。美術を専門に学ぶ学生たちが夕張の歴史も学びながら、貴重な作品群の中から自分達の視点で作品を選び企画しました。今年は第二弾として「炭都がつむいだ暮らしと表情」と題して、夕張炭鉱で働く人々や当時の賑わいのある生活が描かれた、日本画、油彩画、木炭デッサン、写真、スケッチなど約40点を紹介します。

大学内の「森の岩ギャラリー」という小さな居心地の良い空間で学生たちがお待ちしています。ご高覧いただければ幸いです。

北海道教育大学 美術文化専攻教授 三橋純子
(アートマネジメント美術研究室)



夕張風物抄から《ピン切》
小林政雄 1999年



《千屯ピン》倉持吉之助 1950年代



《薪挽き》大黒孝義 1951年



《黒ダイヤ祭》大崎盛 1972年

公開授業

参加無料
申込不要

炭鉱美術が語りかけてくること

美術館の元館長と夕張市の学芸員をゲストに迎え、展示作品や炭鉱美術を紹介する特別授業(約90分)を一般公開します。

日時 | 10月28日 [月]

集合場所 | 森の岩ギャラリー 集合時間 | 10:30

※集合後、キャンパス内にある校舎の講義室に移動します。

バスツアー

参加有料
事前申込制

岩見沢から夕張への小旅

申込期限: 10月28日 [月]

展覧会鑑賞後、夕張にバス移動し夕張市石炭博物館を解説付きで見学します。

日時 | 11月4日 [月・祝] 集合時間 | 12:30 (17:00頃、大学で解散予定)

集合場所 | 森の岩ギャラリー 参加費 | 大人720円/子供440円

申込方法: 事前にお電話にてお申し込み下さい。定員15名(先着順)
tel. 0123-57-7711 (夕張市教育委員会 社会教育係)

森の岩ギャラリー (北海道教育大学 岩見沢キャンパス内)

〒068-8642 北海道岩見沢市緑が丘2丁目34-1

徒歩 | JR 岩見沢駅から約30分

バス | JR 岩見沢駅前の中央バス岩見沢ターミナルから「教大前」下車

- ・かえて団地循環線(東高先回り:系統1)で約8分
- ・南町・春日循環線(市役所先回り:系統10)で約13分
- ・いわみざわ公園線(系統13)で約8分
- ・岩見沢栗山線(教大前経由:系統27)で約8分

お車 | 道央自動車道 岩見沢ICから約1.5km(キャンパス内に無料駐車場有)



Hello Yubari Webサイト: <https://hello-yubari.jimdofree.com>

お問い合わせ: artmanagement.iwamizawa@gmail.com (北海道教育大学アートマネジメント美術研究室)